

三浦家来歴

三浦の元の姓は、ゆるぎ（滋賀県^{ゆるぎ}万木村）

万木角治

近江国高島郡田中の在、越前の国の城主丹羽五郎左衛門長秀侯の臣、戸田武蔵守と申す三万石を領し、武勇隠れなき人なり、藤原朝臣高親の父なり。

藤原朝臣高親すなわち三浦九郎右衛門、法名照室宗恵居士より、一世高明となる。

高明彦根藩主井伊氏に持す。享保八癸卯年正月二十一日なり。母は、中野助太夫の娘なり。

三浦家：織田信長安土城築城の重臣丹羽五郎左衛門長秀の臣三万石の出で、宝暦四年（1754年）井伊家に抱えられ、現埋木舎の隣家に、昭和35年まで216年間住み着いた。
御表お側役（御時計の間）**三浦主水** 明和四年丙戌六月二十日

三浦洗吉の兄、六一郎は増島家の養子となる。

法学博士 中央大学創立者 増島法律事務所経営

三浦洗吉の姉はつ千代の主人**内海吉堂**は嘉永二年（1894年）敦賀に生まれ塩川---

世の中をよそ見に見つつも 埋もれ木の

埋もれておらむ 心なき身は 井伊大老